



評価医養成のための 摂食嚥下研修会 ステップⅠ

対象 医師・歯科医師

定員 56名

プログラム

研修コード **A12-1**

開催日時 令和6年4月21日(日) ①10:00~11:00 ②11:05~12:05
③13:10~14:10 ④14:15~15:30

申込期間 令和6年3月1日(金)~4月15日(月)

① 摂食嚥下障害に関する基礎知識

昭和大学江東豊洲病院 耳鼻咽喉科 教授 **木村百合香**

摂食嚥下機構のメカニズム、誤嚥の起こる仕組みといった解剖学的・生理学的基礎知識について述べた後、摂食嚥下障害を引き起こす代表疾患として、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症、変性性認知症の病態について解説します。

② 高齢者誤嚥性肺炎の治療と予防法

杏林大学 医学部 高齢医学教室 准教授 **海老原孝枝**

近年、慢性誤嚥や肺炎罹患は舌筋や呼吸筋の萎縮と筋力低下をもたらすことにより、肺炎単独発症から狭義の摂食障害および低栄養に至る病態時間軸が判明してきました。個々の背景疾患や病態時間軸における立ち位置を見定め、各々に応じたアプローチについて解説します。

③ 嚥下内視鏡による評価

じんだい耳鼻咽喉科 院長 **唐帆健浩**

嚥下障害診療ガイドラインでは、嚥下状態の把握や治療手段を選択する検査として嚥下内視鏡検査を実施することが推奨されています。①鼻腔・咽喉頭の解剖、②検査前の鼻処置、③内視鏡の挿入経路、④嚥下内視鏡検査の観察項目、⑤合併症とその予防策、⑥見逃してはいけない病変について解説します。

④ 摂食嚥下障害の精査と診断、診療方針

西山耳鼻咽喉科医院 院長 **西山耕一郎**

嚥下機能を正しく評価しないまま経口摂取を続けると、誤嚥性肺炎を発症する危険があるため適切な治療のために正しい病態診断が必要であることを理解します。



評価医養成のための 摂食嚥下研修会 ステップⅡ

対象 医師・歯科医師

定員 56名

プログラム

研修コード **A12-2**

開催日時 令和6年5月26日(日) ①10:00～11:00 ②11:05～12:05
③13:10～14:10 ④14:15～15:15

申込期間 令和6年4月22日(月)～5月20日(月)

① 摂食嚥下障害に関する頸部聴診法

昭和大学 名誉教授 高橋浩二
医療法人徳洲会 館山病院 口腔機能リハビリテーションセンター長

頸部聴診法の知識を深め、実習によって頸部聴診の手技、判定法を理解します。

② 摂食嚥下障害の外科的治療

Swallowish Clinic 院長 金沢英哲

嚥下障害が高度な場合には「肺炎を回避するための誤嚥防止手術」が必要となります。手術選択におけるポイントと手術手技を紹介し、具体的症例を提示・解説します。

③ 摂食嚥下障害への食事時の姿勢の保持の 対応法

高崎健康福祉大学 保健医療学部 理学療法学科 教授 吉田 剛

姿勢が嚥下機能に影響を与えるメカニズムを知り、嚥下しやすい状態にするための、座位姿勢保持に必要な要素、呼吸との関連性、嚥下筋の運動学などの基礎知識、シーティングに関する基本的知識などを学びます。

④ 摂食嚥下障害への栄養管理について ～代替栄養法の適応と管理～

医療法人社団 ふけ会 富家千葉病院 摂食嚥下センター長 我妻将喜

嚥下障害などの口腔・咽頭機能低下のあるオーラルフレイルが持続するとサルコペニア・要介護状態になりやすく、最終的生命予後にも影響します。適切な栄養評価を行うことを学びます。



評価医養成のための 摂食嚥下研修会 ステップⅢ

対象 医師・歯科医師

定員 56名 (各28名)

プログラム

研修コード **A12-3**

開催日時 令和6年6月23日(日) ①10:00～12:00 または
②13:00～15:00

申込期間 令和6年5月27日(月)～6月17日(月)

摂食嚥下機能評価のデモとマネキン実習

九段坂病院 リハビリテーション科 部長 **小林健太郎**
他インストラクター3名

嚥下内視鏡検査VEの目的は、内視鏡を挿入して①咽頭期の機能的異常の診断、②器質的異常の評価、③代償法やリハビリの選定や効果判定を行うことです。マネキンを使用し手技を確認をします。

※受講にあたっての注意

- 1 初めて受講される方は、ステップⅠから順に受講してください。
- 2 すでにステップⅠ～Ⅲを修了されている方は、評価医フォローアップコースのみ受講することができます。
- 3 ステップⅠ～Ⅲを修了された方には、修了証を交付致します。
- 4 複数年にわたっての受講も可能です。(3年以内)



第1回



第2回



第3回

評価医養成のための 摂食嚥下研修会 フォローアップコース

対象

医師・歯科医師

定員

40名（各20名）

第1回 プログラム

研修コード A12-4

開催日時 令和6年10月20日(日) ①10:00～12:00または②13:00～15:00

申込期間 令和6年9月2日(月)～10月7日(月)

【実習1】 摂食嚥下機能評価のデモと相互実習

九段坂病院 リハビリテーション科 部長 小林健太郎
他インストラクター3名

嚥下内視鏡を使用して相互実習を行います。

対象

医師・歯科医師

定員

40名（各20名）

第2回 プログラム

研修コード A12-5

開催日時 令和6年11月10日(日) ①10:00～11:00または②11:30～12:30

申込期間 令和6年9月2日(月)～10月28日(月)

【実習2】 吸引実習

当センター 歯科医師 田中純子、平林幹貴

マネキンを使用して吸引の手技を学びます。

対象

医師・歯科医師

定員

40名

※リハビリチーム養成のための摂食嚥下研修会と合同開催

第3回 プログラム

研修コード **A12-6**

開催日時 令和6年11月26日(火) ①19:00～19:30 ②19:30～20:30

申込期間 令和6年9月2日(月)～11月12日(火)

① 事例検討会

東京女子医科大学八千代医療センター 耳鼻咽喉科 准教授 **三枝英人**

近年、精神神経科病棟の開放による患者の在宅療養化、ストレス社会における精神神経科患者の増加が懸念される中、嚥下障害と向精神薬との関係を考慮する機会も増えると思われま。代表例を提示して解説します。

② 事例検討会

ごはんがたべたい歯科クリニック 院長 **齋藤貴之**

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 医歯学専攻老化制御学講座
摂食嚥下リハビリテーション学分野 講師 **山口浩平**

本事例検討会で医科歯科連携や病院から退院して在宅への移行した実際の事例について、また大学でのICT (Information and Communication Technology) の取り組みやミールラウンドICT、その他の先進的な取り組みについてご紹介します。

※受講にあたっての注意

- 1 評価医フォローアップコースは1日単位で受講することも可能です。
- 2 評価医フォローアップコースを3日間受講された方には、修了証を交付致します。
- 3 複数年にわたっての受講も可能です。(3年以内)